

表③ 農薬の発がんの強さと発がん危険度

農薬名（一般名）	Q 値	国際がん研究機構（IARC）の分類	リスクの大きさ
<除草剤>			
リニュロン	3.28×10^{-1}	C	1.52×10^{-3}
オキサジアゾン	1.3×10^{-1}	B2	1.21×10^{-5}
アラクロール	5.95×10^{-2}	B2	2.42×10^{-5}
アシュラム	2.0×10^{-2}	-	-
プロビザミド	1.6×10^{-2}	C	7.77×10^{-6}
グリホサート	5.9×10^{-5}	C	2.73×10^{-7}
<殺菌剤>			
ダイホルタン	2.5×10^{-2}	B2	5.94×10^{-4}
TPN	2.4×10^{-2}	-	2.37×10^{-4}
マンゼブ	1.76×10^{-2}	B2*	3.38×10^{-4}
マンネブ	1.76×10^{-2}	B2*	4.42×10^{-4}
ジネブ	1.76×10^{-2}	B2*	7.17×10^{-4}
ホセチル	4.3×10^{-3}	C	3.29×10^{-8}
フォルペット	2.4×10^{-3}	B2	3.24×10^{-4}
キャプタン	2.3×10^{-3}	B2	4.74×10^{-4}
ベンレート	2.065×10^{-3}	C	1.13×10^{-4}
OPP (オルソフェニルフェノール)	1.57×10^{-3}	-	9.99×10^{-5}
<殺虫剤>			
ペルメトリン	3.0×10^{-2}	C	4.21×10^{-4}
シペルメトリン	1.9×10^{-2}	C	3.73×10^{-6}
アセフェート	6.9×10^{-3}	-	3.73×10^{-5}

注）＊は代謝物 ETU(エチレンチオウレア)に対する分類。<地球号の危機 89 号>

IARC の分類＝国際がん研究機構（IARC）による化学物質の発がん性程度分類方法

グループ B2＝ヒトに対する発がんの危険性が高い物質。動物実験で発がん性が十分に証明されているが、疫学データは無い、または不十分である。

グループ C＝ヒトに対する発がん性がある物質。動物実験で一定程度発がん性が認められているが疫学データがない。